

いまあなたは恐ろしい夏を体験する！

ましよう

四谷怪談

よ

魔性の夏

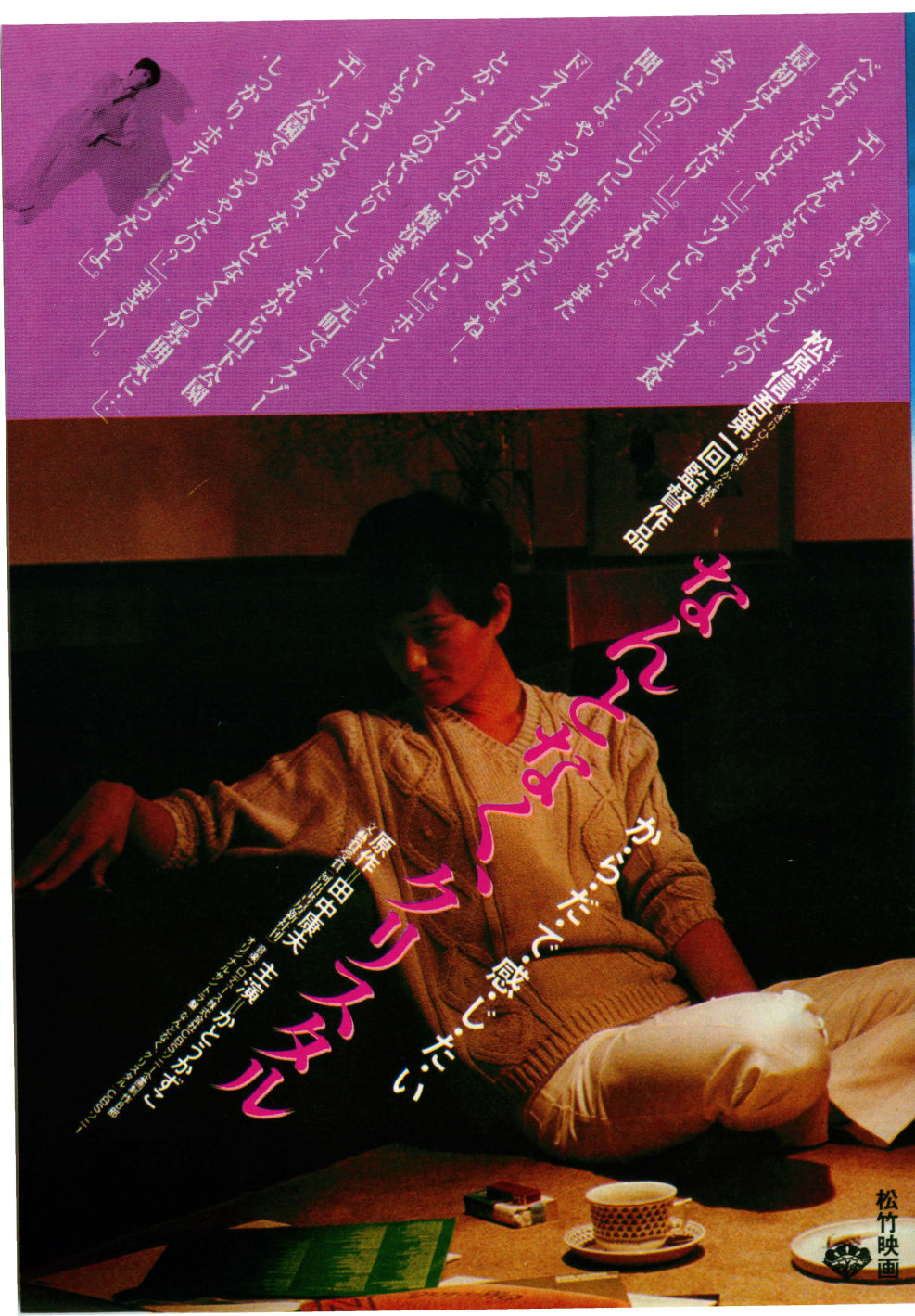
なつ

鬼才・蜷川幸雄が放つ
シネ・ホラーの衝撃！

萩原 健一
関根 恵子
夏目 雅子
森下 愛子
小倉 一郎
石橋 蓮司
勝野 洋

製作 ■ 宮島秀司・織田明 / 原作 ■ 鶴屋南北 / 脚本 ■ 内田栄一 / 監督 ■ 蜷川幸雄
撮影 ■ 坂本典隆 / 美術 ■ 芳野尹孝 / 音楽 ■ 千野秀一 / 演奏 ■ 前橋由子 / 時代考証 ■ 林美一

松竹映画



松竹映画

◆スタッフ

製作……中川 完治
原作……田中 康夫
（文藝賞受賞作・河出書房新社刊）
脚本……松原 信吾
監督……東海 洋士
監修……田中 晶子
撮影……松原 信吾
美術……長沼 六男
音楽プロデューサー……横山 豊
株式会社 CBSソニー
企画制作 8部
オリジナルサウンドトラックLP
「なんとなく、クリスタル」
衣裳コーディネーター……川島 令子

（株）スタジオレップ
協力 宝酒造株式会社
製作協力
ボーラ化粧品
森下仁丹株式会社
ソニー株式会社
株式会社レナウン
株式会社ロザリア

◆キャスト

由利……かとう かずこ
淳一……亀井 登志夫
正隆……清水 善三
早苗……有田 奈穂子
江美子……横山 エミ
直美……堀 ちひろ
真紀子……原 美枝子
素敵な女性……前橋 汀子
（特別出演）

◆スタッフ

製作……宮島 秀司
原作……織田 明
脚本……鶴屋 南北
監督……内田 栄一
監督補……蛭川 幸雄
撮影……仲倉 重郎
撮影……坂本 典隆
美術……芳野 尹孝

◆キャスト

伊右衛門……萩原 健一
い……関根 恵子
そ……夏目 雅子
直助……石橋 蓮司
う……森下 愛子
宅悦……小倉 一郎
与茂七……勝野 洋

魔性の夏

四谷怪談より

なんとなく、クリスタル

「橋大の学生、二十四才の田中康夫の文藝賞受賞の小説『なんとなく、クリスタル』は発表と同時に強い反響を呼び、一種のカルチャー・ショックをもたらしました。マスコミ界からは『カタログ小説』『クリスタル族』などという新語さえ生まれ、ブーム現象はエスカレートするばかりです。気分を行動のメジャーとして、何となく毎日を過している都会の若者たちのクールでリッチな生活志向……。この現代そのものの世代感覚とライフスタイルを映像化することは、まさに一九八一年のイキイキした映画をつくることに他なりません。」

松竹では、新人監督・松原信吾を抜てき、二十才のライター・田中晶子と二十六才の東海洋士（松竹企画部）による脚本作り、若手スタッフによるチーム編成と思いついた布陣をしてみました。

また音楽は、原作に登場する洋楽の中から十数曲を選び出し、ポール・デビスの「アイ・ゴー・クレイジー」、ボズ・スキヤッグスの「ウィー・アー・オール・アローン」など音楽ファン憧れの曲が映画を彩ります。

主人公の由利は、モデルのアルバイトで月収四十万円、ミュージシャンの彼と共棲して、その日その日を気分よく生きようとする女子大生。映画は由利のなにげない日常の行動と心理を鮮やかにスケッチして行き、「クリスタル族」の風俗と心情を浮きぼりにしてゆきます。

キャストはヒロイン由利に個性派・かとうかずこが映画初出演、相手役淳一には、ロック・グループ「N.A.S.A」の亀井登志夫が、他にファクション界から堀ちひろ、有田奈穂子の出演に加えて横山エミ、新人の清水善三が顔を揃えています。世界的バイオリニスト・前橋汀子が出演するのも大きな話題です。

松竹ではこの度、恐怖映画の古典ともいえる「四谷怪談」を題名も新たに「魔性の夏・四谷怪談より」として演劇界のスーパースター・蛭川幸雄監督で製作いたしました。

「四谷怪談」は鶴屋南北の最大の傑作であります。現代の若者にとつて、興味深い恐怖（ホラー）映画は、軽やかで、その後にくるゾーッとする恐ろしさは何とも言えない快感につながるのだとも言われています。四谷怪談を、生きる目的をみつけることができず、世界とつながる方法をついに発見することのできなかった若者たちが陥ちつづけてゆく物語として、美しく描きたい。それを透明な抒情をもって、蛭川幸雄の人氣は異常とも言えるほど、すさまじいものがあります。彼のもつ最大の特徴は、絢爛とも言える様式美・水晶のような細織でとき澄まされた人間愛、それらを一瞬のうちに拭い去ってしまうような軽やかなストーリーのテンポだと言えます。

この作品は古典ではありますが、蛭川流に現代感覚で青春群像を描こうとするものです。

出演者は、伊右衛門に萩原健一、いかに関根恵子、そして夏目雅子、直助に石橋蓮司、与茂七に勝野洋、宅悦に小倉一郎、うめに森下愛子と巾広く存在感のある精鋭キャストがすでに決定、充分若者たちに納得のゆくメンバーを揃えております。

又、脚本はベテランの劇作家・内田栄一、撮影・坂本典隆、美術・芳野尹孝、照明・八亀実など松竹が誇る最高スタッフが取り組みます。

日本映画史上新たな、そして生涯忘れることのできない鮮烈なショックがまもなく、スクリーンに登場しようとしています。ご期待下さい。

5月23日(土)2本立公開!

音協特別鑑賞券 ¥1,100

銀座松竹 (541) 1786	銀座文化・1 (561) 0707	浅草松竹 (841) 2022	池袋松竹 (971) 1077
新宿松竹 (354) 2414	上野松竹 (831) 4963	渋谷松竹 (400) 1477	歌舞伎町新宿座 (209) 4338
池袋日勝 (971) 9437	江東キングキ (631) 3121	蒲田ロキシ (738) 0010	吉祥寺松竹 (48) 6521
松竹大宮ロキシ (42) 5321	川崎ロイヤル (233) 9381	相鉄中央 (311) 5573	横浜松竹 (261) 2790